

2024年5月24日

環境配慮型のアルミニウム系ポリエステル重合触媒 「TOYOBO GS Catalyst®」がリサイクル性に関する APR 認証を取得

当社が製造・販売する、重金属を含まない環境配慮型のアルミニウム系ポリエステル重合触媒「TOYOBO GS Catalyst®」が、このほどプラスチックリサイクルの国際的な業界団体である The Association of Plastic Recyclers (所在地: 米国ワシントン DC、以下「APR」)より、リサイクル性能に関する認証(“APR Design® for Recyclability” / “Critical Guidance Recognition”)を取得しましたのでお知らせいたします。



重合触媒に「TOYOBO GS Catalyst®」を使用して製造した PET 樹脂(手前)と、アンチモン触媒、チタン触媒をそれぞれ使用して製造した PET 樹脂(奥右、奥左)

「TOYOBO GS Catalyst®」使用 アンチモン触媒使用 チタン触媒使用



写真左から「TOYOBO GS Catalyst®」、アンチモン触媒、チタン触媒をそれぞれ使用して製造した PET 樹脂を加熱・溶融(300℃、2時間)した際の黄変等の様子

当社は 2002 年、一般的な PET 樹脂の製造時に用いられる触媒がアンチモンなどの重金属化合物が主流であるのに対し、世界で初めてアルミニウム系の重合触媒「TOYOBO GS Catalyst®」を開発。重金属を含まない「TOYOBO GS Catalyst®」を使用して製造した PET 樹脂は、環境への負荷軽減に貢献することに加えて、優れた熱安定性を有することから溶融成形を繰り返しても樹脂の劣化が起りにくいこと、リサイクルに適しています。今回、「TOYOBO GS Catalyst®」を使用して製造した PET 樹脂に対し第三者機関が実施した評価をもとに、APR により審査が行われた結果、APR が定めるリサイクルに関する厳格な要求性能(“Critical Guidance Recognition”)に合致またはこれを上回ることが認められたとして、リサイクル性に関する APR 認証の取得に至りました。

「TOYOBO GS Catalyst®」を使用して製造した PET 樹脂は、これまで飲料用ペットボトルや包装用 PET フィルム製品、太陽電池用バックシートなどに採用されてきました。世界的に環境意識が高まる中、PET 樹脂のリサイクルは、ボトルのみならず、今後、繊維やフィルム、成形品など様々な用途での拡大が見込まれています。このたびの認証取得を受け、当社は今後も、北米や欧州を中心に「TOYOBO GS Catalyst®」のグローバルな普及拡大に注力し、循環型社会の実現に貢献できるよう努めていきます。

The Association of Plastic Recyclers について

プラスチックのリサイクル産業を代表する国際的な業界団体。高品質な再生プラスチックを保証する独自の認証プログラムやリサイクル性を評価するための試験方法の提供、教育活動などを通じて循環型経済のサポートを実施。

「TOYOBO GS Catalyst®」について

当社が 2002 年に開発した、アンチモンなどの重金属を含まない世界初のアルミニウム系ポリエステル重合触媒。「TOYOBO GS Catalyst®」を使用して製造した PET 樹脂は、透明度が高く、熱安定性に優れているため溶融成形時の劣化が起りにくいこと、環境対応性に優れた特長を有しています。2017 年には、PET 樹脂製造最大手のインドラマベンチャーズと「TOYOBO GS Catalyst®」を使用した重合技術や特許に関するライセンス契約を締結[※]するなどグローバルな展開に注力しています。

※ 2017年9月21日付 当社プレスリリース「PET 世界最大手 インドラマ社に重合技術をライセンス アルミニウム触媒技術をグローバル展開」
(https://www.toyobo.co.jp/news/2017/release_8075.html)

以上

■お問い合わせ先

東洋紡株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
電話：06-6348-4210 (本社) E-mail：pr_g@toyobo.jp